

《めざす児童像『主体的に学ぶ子 共生の心を持つ子 健康な子 郷土に親しむ子』》



しらやま

白山小学校だより No.43

令和2年3月18日



根を降ろすほど芽も強くなる



17日（火）、第110回卒業証書授与式が規模を縮小されたものの厳粛に行われました。学級目標「12人12色」にあるように、一人一人が自分のよさを発揮し、輝き、仲間と力を合わせて学校を引っ張ってくれた6年生。久々に友だちと再会した喜びと別れることの寂しさをにじませながら、6年間の思い出の詰まった学舎を巣立ちました。「白山小学校の卒業生である」という自信と誇りを持って、中学校でも活躍してくれることを期待しています。

校舎前の桜のつぼみが日ごとに膨らみを増してきました。春はもうそこまでやってきているのですね。令和という新しい時代が幕を開け、希望に満ちた月日を予感させてくれた今年度。3月を迎えるに当たり、子どもたちはどのような有終の美を飾ってくれるのか期待していたのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために3月2日から学校は臨時休校となってしまいました。急な対応にもかかわらず、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございます。この間、各ご家庭の皆様も、日々変化する感染症に関連する様々な情報に不安を抱えておられることと思います。また、自宅で長時間を過ごしているお子さんの健康や気持ちの面でつらい場面もおありかと思えます。新型コロナウイルス感染症の流行が長期化している今、感染拡大防止と心身の健康とのバランスをどう図るか、冷静に考え、実践していただくほかありません。とにかく、1日も早く終息に向かってくれることを願うばかりです。

さて、子どもたちはしめくくりとなるべき3月の登校はできませんでしたが、今年度のこれまでの取組は白山小学校の確かなあゆみとなりました。このあとは、どの学年の子どもたちも進学・進級に備え、この1年で積み重ねてきた学びを整理して、4月へつなげる日々をていねいに大切に過ごして行ってほしいと願っています。

この学校だより「しらやま」は第43号で最終となりました。この1年間、最後まで発行できましたのも、保護者や地域の皆様の温かいご支援とご協力のおかげだと深く感謝いたします。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、卒業式においてご来賓の皆様全員をお招きできなかつたりPTA運営委員会を中止させていただいたりなど、お世話になった方々への直接のお礼の言葉をお伝えすることができませんでした。あらためてこの学校だよりを通して、感謝の気持ちをお伝えします。今年度1年間、本当にありがとうございました。

越前市白山小学校長 北川 喜教